Excelの基本操作

セルへの計算式の記入

セルに半角で=と記入すると、 そのセルに記入したものが数式 とみなされ、計算が行われる

基本的な演算

※A1, B1はセル番号の例

```
足し算 =A1+B1
引き算 =A1-B1
掛け算 =A1*B1
割り算 =A1/B1
二乗 =A1*A1 または =A1^2
```

計算の基本操作平均値の計算を例に

1)合計を出す

SUM関数で



セルに=sum(と記入し、

計算させたい値をドラッグ で選択

関数を)で閉じて完了

2)データの個数を出す counta関数で

148	合計	4045.1		
148	個数	=counta(C	3:C28)	
149				
150				
150			رح	
150.4			u -	
151				
153				

セルに=counta(と記入 し、

計算させたい値をドラッグ で選択

関数を)で閉じて完了

3) 合計を個数で割る



セルに=と記入し、

分子のセル / 分母のセル と記入して完了

補足)average関数で、元のデータを選択 しても同じ結果が得られる

合計	4045.1		
個数	26		
平均值	155.5808	手計算	
平均值	=average(0	関数	

基本的な関数

※A1やB1、A1:A10は、セル番号やデータ範囲の例

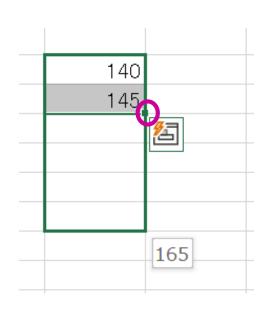
```
平方根
     =SQRT(A1)
最大値
     =MAX(A1:A10)
     =MIN(A1:A10)
最小值
平均值
     =AVERAGE(A1:A10)
中央値
     =MEDIAN(A1:A10)
全要素の分散 = VAR.P(A1:A10)
全要素の標準偏差 = STDEV.P(A1:A10)
不偏標本分散 = VAR.S(A1:A10)
不偏標本標準偏差 = STDEV.S(A1:A10)
```

FREQUENCY関数を使った簡易的な頻度分布図の作り方

1)MAX関数MIN関数で、最大値と最小値を確認する

最大値	167
最小値	148

2)区間を設定する。今回は簡易的に、140から5センチ刻みで170までを作る



140,145と縦に続けて記入したのち、 二つのセルをドラッグで 囲って、 右下の黒い小さな点を下 にドラッグすると、5刻み の連続データが作られる。

3)最初の区間にfrequency関数を記入する

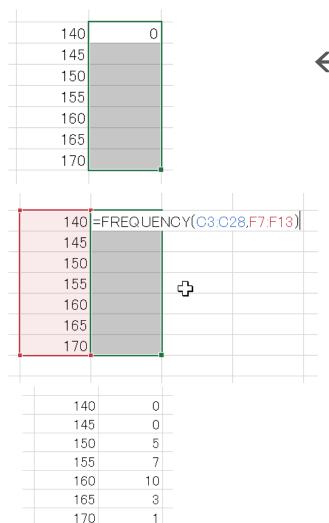
140	=frequenc	y(
145	FREQUE	NCY(デー タ 配	记列,区間配	列)
150		_		
155		₹.		
160				
165				
170				

140の隣に、 =frequency(と記入

148	最大値	167	
148	最小値	148	
149			
150			
150		140	=frequency(C3:C28,F7:F13)
150.4		145	
151		150	
153		155	
153		160	
153.4		165	
155		170	
155			
155.5			т,
156.6			-

データ配列と、区間配列を、カンマで区切ってそれぞれ入力。)で閉じ

4)以下の操作をして、frequency関数を 各区間に適用する



←の部分を選択し、

F2キーを押したのち、

Ctrlキー、Shiftキーを 両方押したまま、リ ターンキーを押す。